

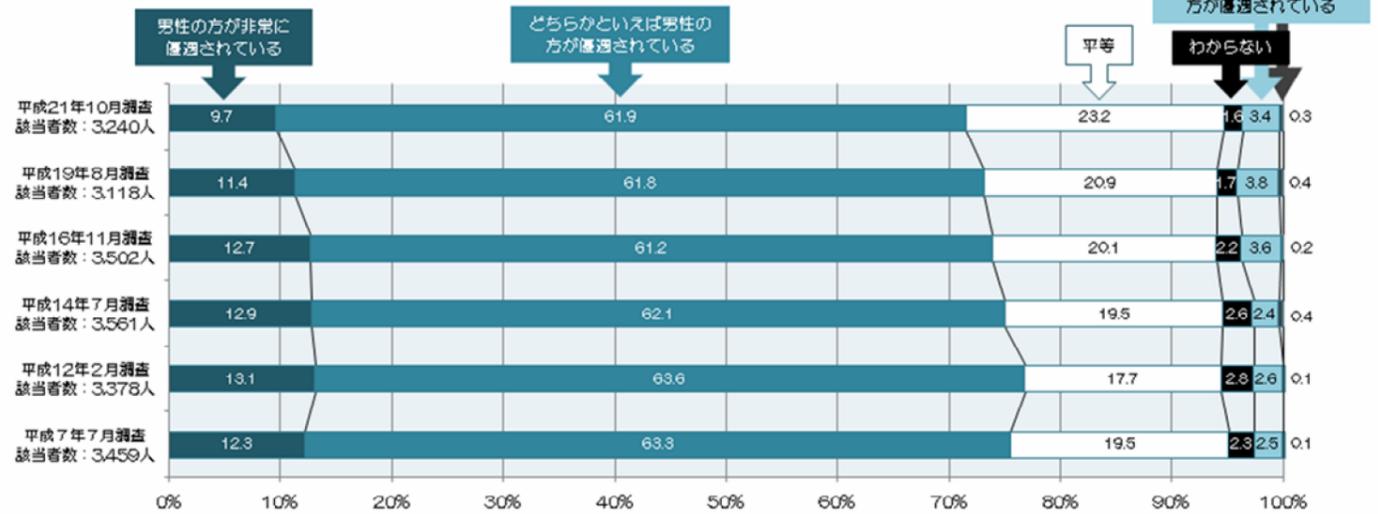
「国際女性の日」は、今年で100周年を迎えました。

1904年3月8日に、アメリカ合衆国のニューヨークで、女性労働者が婦人参政権を要求してデモを起こしました。これを受け、ドイツの社会主義者クララ・ツェトキンが1910年にコペンハーゲンで行われた国際社会主義者会議で「女性の政治的自由と平等のためにたたかう」記念の日とするよう提唱したことが、国際女性の日のはじめです。今年でちょうど100年目を迎えています。その後の1975年（国際女性年）には、国連が3月8日を「国際女性の日」と定めて、世界各国でこの日を祝う行事が行われています。日本においても、この100年の間に、社会のあらゆる分野で男女平等と女性の地位向上に大きく動いています。



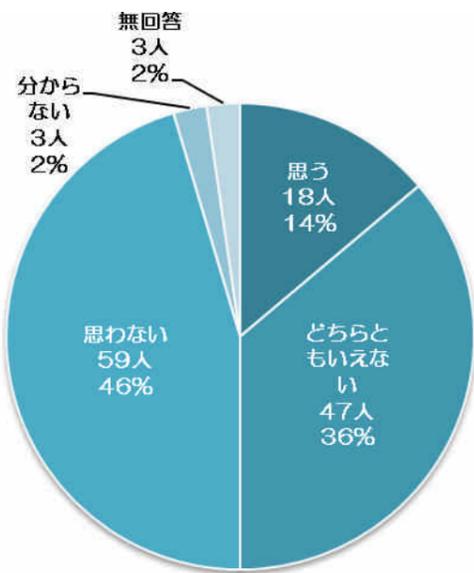
あなたは、社会全体でみた場合には、
男女の地位は平等になっていると思いますか？

(内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」平成21年12月5日公表)



現在、あなたをとりまく環境は、男女平等であると思いますか？

(平成21年度南国市男女共生社会づくり研修会 参加者に実施したアンケート結果)



上のグラフでは、少しずつだけれど、「平等」と回答する人が増えているわ。

南国市では、男女共同参画社会の実現に向けて、講座などを開催しています。ぜひご参加ください！

ホームページでも事業を紹介しています！
<http://www.city.nankoku.kochi.jp/>
*トップページのメニューから『人権』をクリックしてください。

どちらの調査でも、男女平等だと思わない人がまだ多いことが分かりますね。



女だから男だからではなく 自分らしくいきいきのびのび
そんな南国市をめざして！



南国市G駅市民区画図と駅Cの50周年

回 覧																				

回覧の際にご利用ください。

『ハーモニー』に関するお問い合わせは、
南国市教育委員会事務局 生涯学習課 生涯学習人権係まで
☎088-880-6569

日本の『GEM』知っていますか？

日本は、「長寿」「教育」「所得」の水準により人間開発の達成度を示す HDI については、182か国中10位ですが、政治及び経済活動への女性の参画を示す GEM では、109か国中57位と大きく落ち込んでいます。

(国連開発計画 (UNDP) 『人間開発報告書 2009』 / 平成 21 年 10 月 5 日公表)

HDI : 人間開発指数 (Human Development Index)

「長寿を全うできる健康的な生活」、「教育」及び「人間らしい生活」という人間開発の3つの側面を簡略化した指数で、平均寿命、教育水準(成人識字率及び就学率)、調整済み1人当たり国民所得を用いて算出しています。

GEM : ジェンダー・エンパワーメント指数 (Gender Empowerment Measure)

女性が政治及び経済活動に参加し、意思決定に参加できるかどうかを測る指数で、HDI が人間開発の達成度に焦点を当てているのに対して、GEM は能力を活用する機会に焦点を当てています。具体的には、国会議員に占める女性割合、専門職・技術職に占める女性割合、管理職に占める女性割合及び男女の推定所得を用いて算出しています。

HDI		
順位	国名	指数
1	ノルウェー	0.971
2	オーストラリア	0.970
3	アイスランド	0.969
4	カナダ	0.966
5	アイルランド	0.965
6	オランダ	0.964
7	スウェーデン	0.963
8	フランス	0.961
9	スイス	0.960
10	日本	0.960

GEM		
順位	国名	指数
1	スウェーデン	0.909
2	ノルウェー	0.906
3	フィンランド	0.902
4	デンマーク	0.896
5	オランダ	0.882
6	ベルギー	0.874
7	オーストラリア	0.870
8	アイスランド	0.859
9	ドイツ	0.852
10	ニュージーランド	0.841
⋮	⋮	⋮
57	日本	0.567

2つの指数から、日本は、人間開発の達成度では世界的に高い水準であるのに、女性が政治経済活動や意思決定に参画する機会が、まだ不十分であると言えるね。



男女共同参画社会を実現するために、南国市では本年度も、『DV講座』と『男女共生社会づくり研修会』を開催しました。

『DV講座』～暴力から目をそらさないで～

DV (ドメスティック・バイオレンス: 配偶者や恋人などの近親者から受ける暴力・虐待のこと) について、さまざまな視点から考える目的で、今年1月に3回の講座を開催しました。

DV被害から身を守る / 南国警察署 生活安全課 岡崎貞三課長 平成22年1月14日(木) 13:30~15:00

DV被害の事例から、DVが起こる原因や被害の届出・相談が行われた後の警察・行政などの対応についてお話をいただきました。



参加者の感想の一部をご紹介します。

- DV事件に対して警察の門が広く開かれていることを知った。
- DV事件の事例が分かりやすく勉強になった。
- 警察がより身近な存在であると思えるようになった。何かあったら相談したいと思う。
- 困ったことを相談することが解決への一歩であると理解した。

ジェンダーから考えるドメスティック・バイオレンス / 高知女子大学 文化学部 長妻由里子准教授 平成22年1月21日(木) 13:30~15:00

暴力をなくすためには、その原因を見直す必要があり、そこには『ジェンダー』が大きく関わっていることを学びました。



参加者の感想の一部をご紹介します。

- 男女である前に、人間であることを尊重して今まで生きてきたが、自分自身の中にジェンダーを悪用した甘えがある事が分かった。
- 女とか男とか関係なく子どもたちが自分自身の個性を生かした生き方ができるよう育てていきたいと思った。

DVってどんなこと? / うち男女共同参画センター「ソーレ」 金川淳子氏 平成22年1月27日(水) 13:30~15:00

「ソーレ」での相談業務の事例紹介やDV防止法などで被害者がどのように守られるのかを学びました。



参加者の感想の一部をご紹介します。

- 家庭でDV被害に遭っていた子どもたちが、大人になったときに「DVを受けない・しない」ように考えていきたい。
- DVを目にした時、自分がそれに立ち向かっていくには大変勇気がいると思った。
- さまざまな状況でDV被害に遭っている方がいることが分かった。

『男女共生社会づくり研修会』

今年は、「男女平等ってどういうこと!？」をテーマに3名の講師から、それぞれのご経験を伺い、男女平等を見つめ直す研修会を、2月に3回開催しました。

いろいろな国 いろいろな人々 そして女と男 / 特定非営利活動法人 うち男女共同参画ポレール 木村昭子理事 平成22年2月12日(金) 13:30~15:00

男女平等の国際的なものさしであるGEMについて学び、その後日本が男女平等の国であるかを、参加者同士で話し合い、日常にある男女平等について考えました。



参加者の感想の一部をご紹介します。

- 男女が全く同じことをするのが男女平等ではなく、個々の尊厳の大切さを学んだ。
- 「男性にとっても女性にとっても“男女平等”でないと生きづらい世の中」という言葉に同感だ。

イケメンよりも“イクメン”がもてる時代 / 子育てネットワーク マパはあと高知 中平公哉代表 平成22年2月17日(水) 13:30~15:00

主夫として家事と育児に専念されている体験談や、子育ての最終目標・コミュニケーションの大切さなどを学びました。



参加者の感想の一部をご紹介します。

- 「子どもが生まれて父親になるのではなく、子どもと一緒に父親になっていくものだ」という言葉が心に残った。
- “イクメン”(育児に積極的な男性)が増えることは、社会情勢からも要求されていて、心強いことだと思った。

あなたと私のいい関係 あなたらしさって? / ほほえみクリエイティブ キャリア・コンサルタント 坂本ひとみ代表 平成22年2月26日(金) 13:30~15:00

ワークショップによりお互いの価値観を語り合い、自分らしく生きることが『いい関係』を築く大切なポイントであることを学びました。



参加者の感想の一部をご紹介します。

- 自分を知り、振り返るいい機会になった。
- 男と女は同じ!という話でなく、自分自身を知る・見つめ直すことにより、お互いを知ろうとすることができて、より良い関係を築くことができると改めて感じた。
- 『「したいこと」と「できること」の重なっているところを広くするためには「経験」が必要である』という言葉が印象的だった。